



## 令和8年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和8年2月13日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム

上場取引所

東

コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長

(氏名) 本間 武士

TEL 0256-33-3987

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和8年3月期第3四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第3四半期	72,751	6.3	1,689	0.2	1,770	1.1	1,182	1.8
7年3月期第3四半期	68,408	5.7	1,686	3.6	1,751	3.6	1,162	8.9

(注)包括利益 8年3月期第3四半期 1,235百万円 (10.0%) 7年3月期第3四半期 1,123百万円 (-16.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
8年3月期第3四半期	125.71		
7年3月期第3四半期	123.46		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年3月期第3四半期	25,723	12,180	47.4	1,299.09
7年3月期	24,082	11,204	46.5	1,190.25

(参考)自己資本 8年3月期第3四半期 12,180百万円 7年3月期 11,204百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期		7.00		12.00	19.00
8年3月期(予想)		10.00			
				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	95,800	5.2	1,928	10.1	2,023	9.5	1,404	33.8	149.14	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	8年3月期3Q	10,833,000 株	7年3月期	10,833,000 株
期末自己株式数	8年3月期3Q	1,457,150 株	7年3月期	1,419,327 株
期中平均株式数(四半期累計)	8年3月期3Q	9,407,608 株	7年3月期3Q	9,413,673 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善と所得の増加を背景に緩やかな回復基調にある一方で、米国の通商政策や中東等の地政学リスクの長期化により国際情勢は不安定さを増しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する食品小売業界におきましては、飲食料品の値上げに一服感が見られるものの、実質賃金の伸び悩みにより消費者の生活防衛意識は依然として根強く、選別消費の傾向が続いております。また、原材料価格や物流費の高止まりに加え、人件費を含む店舗運営コストの増加等により、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況のもと、当社グループは、社会環境の変化と働き方の多様化や、環境問題への対応、テクノロジーの進展といった課題に対し、令和9年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を推進しております。商品やサービスの品質向上と、業務効率化やデジタル化の取り組みの強化、多様化する消費者ニーズへの対応を通じ、企業価値の向上に努めてまいりました。

また、昨年10月にはラーメン・餃子・中華料理等を主とした飲食店チェーンを展開している(株)ハイディ日高（本社：埼玉県さいたま市）とフランチャイズ契約を締結し、同社が展開する「熱烈中華食堂日高屋」の日本海側初出店を4月に予定しており、人材の育成等店舗運営に必要な準備を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は727億51百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は16億89百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益は17億70百万円（前年同期比1.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億82百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (スーパー・マーケット事業)

スーパー・マーケット事業につきましては、当社店舗の商圏へ競合他社の出店が相次ぎ、競争環境は一段と激化しましたが、恒例となった月間特売や試食会といったイベントを開催したことにより、来店客数は堅調に推移しました。部門別では、相場高となった精肉部門や青果部門のほか、引き続き需要の高かった米の販売が売上をけん引しました。また、繁忙期となる年末商戦につきましても、降雪量が少なかったため集客への影響は少なく、寿司やオードブルの事前予約は好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は210億4百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は6億61百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

#### (業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、フランチャイザーの(株)神戸物産による「総力祭」や「韓国フェア」といったキャンペーンに加え、需要が高まる時期に合わせた「パーティフェア」や「歳末セール」等、多彩な販促イベントを開催し、季節商材の強化や魅力ある売場づくりに注力した結果、来店客数・客单価ともに前年同期を上回りました。

店舗展開につきましては、当社直営店において「業務スーパー鶴岡城北店」（山形県鶴岡市）及び「業務スーパー一美沢店」（新潟県長岡市）、連結子会社である(株)カワサキにおいて「業務スーパー石岡東大橋店」（茨城県石岡市）の3店舗を移転オープンしました。いずれの店舗におきましても売場面積及び駐車スペースを拡張し、利便性の向上を通じて集客力の強化と売上高の拡大を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は393億56百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は14億68百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

#### (弁当・給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、原材料価格及び配送コストの高止まりから価格改定を進める一方、商品の品質や味・見映えの向上を図り、価格訴求力の高い商品の提供に努めました。また、専用冷凍庫・冷蔵庫を顧客事務所に設置し、冷凍弁当やチルド商品の販売拡大と、新潟県内の専門学校グループ向けの試食営業を推進し、食数の増加に注力しました。

惣菜等の受託製造を行う千葉工場につきましては、既存のスーパー・マーケット向け販売が堅調に推移したことにより、新規取引先の開拓に努めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は81億75百万円（前年同期比9.2%増）、米を中心とした原材料価格の高騰によりセグメント利益は2億6百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設等へ食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、受託施設数は順調に増加し、施設向けおひとり様用おせちの販売が好評を得るなど、売上高は堅調に推移しました。

主力である一般家庭向け食材キットにつきましては、新規顧客開拓を専門とした夕食アドバイザーによる営業活動を継続するほか、配達コースの見直しによる効率改善と、原材料価格の高騰に対し、仕入先を見直すことより利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は37億92百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館事業につきましては、秋の行楽シーズンには旅行代理店を通じたバスツアー客が増加し、宴会利用・宿泊ともに堅調に推移しました。

その他事業の「焼肉黒真」につきましては、品質は維持しながら低価格なコースの導入と焼きガニの食べ放題といったイベントを開催したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は4億22百万円（前年同期比9.0%増）、セグメント損失は60百万円（前年同期はセグメント損失61百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億40百万円増加し、257億23百万円となりました。これは主に、売掛金が5億10百万円、投資有価証券が3億93百万円、棚卸商品が3億80百万円及び投資その他の資産の「その他」が4億29百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億65百万円増加し、135億43百万円となりました。これは主に、長期借入金が4億49百万円減少しましたが、買掛金が11億70百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億75百万円増加し、121億80百万円となりました。これは主に、利益剰余金が9億75百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇し、47.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、令和7年5月13日に公表しました業績予想値に変更はありません。なお、実際の業績につきましては、様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,780,051	4,591,433
売掛金	3,473,925	3,984,181
商品	2,236,171	2,616,267
原材料及び貯蔵品	200,605	251,734
その他	483,604	749,093
貸倒引当金	△2,278	△4,203
流動資産合計	11,172,079	12,188,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,546,533	5,612,685
土地	3,004,304	3,002,174
その他（純額）	1,318,962	1,397,491
有形固定資産合計	9,869,800	10,012,351
無形固定資産		
のれん	2,751	24,677
その他	227,579	271,003
無形固定資産合計	230,331	295,680
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	121,377	117,111
その他	2,689,776	3,119,446
貸倒引当金	△1,096	△9,829
投資その他の資産合計	2,810,056	3,226,727
固定資産合計	12,910,188	13,534,760
資産合計	24,082,268	25,723,268
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,295,938	6,466,749
短期借入金	709,057	618,056
リース債務	282,952	242,066
未払法人税等	267,067	277,082
賞与引当金	272,254	110,258
資産除去債務	9,907	3,836
その他	2,235,630	2,508,405
流動負債合計	9,072,808	10,226,455
固定負債		
長期借入金	1,834,500	1,384,980
リース債務	514,048	473,723
役員退職慰労引当金	190,100	184,500
資産除去債務	953,655	964,929
その他	312,504	308,577
固定負債合計	3,804,808	3,316,709
負債合計	12,877,617	13,543,165

(単位 : 千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	10,764,138	11,739,666
自己株式	△1,169,816	△1,223,068
株主資本合計	10,762,813	11,685,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,099	446,451
退職給付に係る調整累計額	59,739	48,561
その他の包括利益累計額合計	441,838	495,013
純資産合計	11,204,651	12,180,102
負債純資産合計	24,082,268	25,723,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	68,408,595	72,751,616
売上原価	53,171,670	56,737,268
売上総利益	15,236,925	16,014,347
販売費及び一般管理費	13,550,460	14,324,822
営業利益	1,686,464	1,689,524
営業外収益		
受取利息	257	2,537
受取配当金	848	1,072
受取家賃	33,868	35,075
その他	64,938	66,023
営業外収益合計	99,912	104,710
営業外費用		
支払利息	16,336	17,682
障害者雇用納付金	7,475	—
その他	11,015	5,563
営業外費用合計	34,827	23,245
経常利益	1,751,550	1,770,989
特別利益		
固定資産売却益	—	918
受取保険金	3,681	—
特別利益合計	3,681	918
特別損失		
固定資産売却損	—	480
固定資産除却損	9,426	8,580
災害による損失	16,001	—
その他	1,233	1,359
特別損失合計	26,660	10,420
税金等調整前四半期純利益	1,728,571	1,761,486
法人税、住民税及び事業税	487,990	508,910
法人税等調整額	78,405	69,948
法人税等合計	566,395	578,858
四半期純利益	1,162,175	1,182,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,162,175	1,182,628

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益	1,162,175	1,182,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,050	64,352
退職給付に係る調整額	△5,353	△11,178
その他の包括利益合計	△38,403	53,174
四半期包括利益	1,123,772	1,235,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,123,772	1,235,803
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

I 前第3四半期連結累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	20,480,653	36,275,793	7,488,270	3,776,149	387,729	68,408,595	—	68,408,595
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,742	1,162	406,786	15,188	3,301	428,181	△428,181	—
計	20,482,396	36,276,955	7,895,057	3,791,337	391,031	68,836,777	△428,181	68,408,595
セグメント利益 又は損失(△)	651,117	1,399,094	251,405	△23,249	△61,469	2,216,898	△530,433	1,686,464

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△530,433千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△530,465千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	21,004,751	39,356,851	8,175,376	3,792,134	422,502	72,751,616	—	72,751,616
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,755	1,315	418,776	14,229	3,736	439,813	△439,813	—
計	21,006,507	39,358,166	8,594,152	3,806,363	426,238	73,191,429	△439,813	72,751,616
セグメント利益 又は損失 (△)	661,865	1,468,146	206,475	17,467	△60,291	2,293,662	△604,137	1,689,524

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△604,137千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△604,158千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	742,824千円	792,527千円
のれんの償却額	3,456	3,811